

# 地域と共にある学校づくり

発行：長野県教育委員会事務局 文化財・生涯学習課

## 学校と地域をつなぐ「地域コーディネーター」特集



文部科学省「コミュニティ・スクール2018」より一部改

「地域コーディネーターを地域の人材に言うけど、誰に頼んだらいいんだろう…」「そもそも、地域コーディネーターってどんなことする人なの？」

地域と学校を結ぶ、重要なキーマンとなる「地域コーディネーター」ってどんな方か、みなさんご存知でしょうか？

今回のプログラムガイド集では、この「地域コーディネーター」を特集します。

地域コーディネーターに期待される役割、

地域コーディネーターの地域人材への移行の様子、複数コーディネーター制の取組、地域コーディネーターを支える教育委員会の支援等について各地の取組を紹介します。「地域と共にある学校づくり」を持続可能にしていく「地域コーディネーター」にご注目ください！

### コーディネーターの役割とコーディネーターを支える教育委員会の存在

令和2年度学社連携・協働フォーラム（中信地区）では、講師の西 祐樹さんの講演動画をネット視聴していただきました。講演動画の中で地域コーディネーターについて触れていただいたので、ご紹介します。

演題 「地域とともにある学校づくり、その可能性について」

講師 文部科学省 総合教育政策局 地域学習推進課 地域学習推進係 係長 西 祐樹さん



以下、西さんの講演動画から抜粋

#### ○「人材がない」ではなく「コーディネーターを教育委員会が育てる！」

地域コーディネーターを選ぶポイント

地域と学校をバランスよくつなぎ、子供のことを理解できる人

- 地域に関する過去、現在の見識がある
- 地域のキーマンになれる人を知っている
- 地域内外で多くの人と繋がれる
- 学校、先生、子供を理解できる
- ボランティア精神の持ち主
- 気づきや配慮がある
- パソコンをある程度扱える

初めから左の全ての条件を満たすような、立派なコーディネーターはいない！

「コミュニティ・スクールを持続可能にする地域コーディネーターのキックオフ」(2019 前川浩一、青木一)

地域学校協働活動の推進には、地域学校協働活動推進員（教育委員会が委嘱した法律で位置付けられたコーディネーター）や地域コーディネーター（以下、コーディネーターと記載）の配置が必要不可欠です。しかし、人材がないという声が多いのが現実です。コーディネーターを選ぶポイントを認識しておく必要があります。（左記参照）初めから全ての条件を満たすコーディネーターはいません。教育委員会と一緒に学びながらコーディネーターを育てていく考え方が必要です。

**○つなぎ役だけではないコーディネーターの役割**

コーディネーターにとって、学校や地域からの依頼を受け、つないでいくことは重要な役割ですが、それ以外にも、コーディネーターの主体的な「アクション」も大事です。コーディネーターが研修を企画することもその一つで、コーディネーターを対象にした研修や、運営委員、地域の方を対象にした研修等を企画するような「アクション」が求められます。コーディネーターは単につなぎ役ではないのです。

地域コーディネーターに必要な6つの「TION」

- ファシリテーション (facilitation) 中立的立場で地域と学校をつなぐ
- コミュニケーション (communication) 教職員、PTA、地域住民と理解
- ロケーション (location) 地域と学校の目とよい関係 | コミュニティルーム
- アクション (action) 企画、提案、つなぎ、調整 | 研修、情報交換等による学習
- インフォメーション (information) 信頼発信、信頼共有
- リフレクション (reflection) 気づきと振り返り、PDCAサイクル

「コミュニティ・スクールを持続可能にする地域コーディネーターのキックオフ」(2019 前川浩一、青木一)

**○コーディネーターの存在が、持続可能な取組にしてい！**

地域学校協働活動推進員(コーディネーター)が調整役をやっている福岡県春日小学校の校長先生が、家庭・地域との連絡調整の負担が非常に軽減されたと話しています。今まで情報共有が難しかったところが円滑になっただけでなく、持続可能なものになったことも実感しているのです。学校運営協議会委員は、PTAの役職、自治会の役職付けで入る方もいるので人が入れ替わっていきます。そして、学校の先生たちも異動していく中で、コーディネーターが核になって、どんな目標、思いで取り組んできたかも引き継ぎ、活動も引き継ぐことで持続可能性が高まっています。

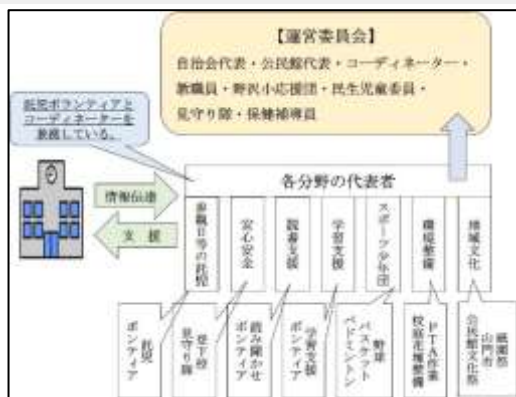
**○教育委員会は、コーディネーターを一人で困らせておかない！**

コーディネーターは、学校に一人の配置の場合が多いですが、そうすると、困っていることが相談できません。教育委員会は、「コーディネーターの対話の場」を設けていく必要があります。コーディネーターには情報交換の場、コミュニケーションの場が必要です。

西さんから、コーディネーターはつなぎ役だけでなく、持続可能性の核であり、学校、家庭、地域それぞれの当事者意識の高まりを仕掛けるといった主体性が求められることを教えていただきました。そして、そのようにコーディネーターが機能するには、教育委員会の積極的な関わりが大事になることも学ばせていただきました。

(中信教育事務所生涯学習課 指導主事 中島 章)

**「コーディネーターを引き受けることに決めました」  
～地域住民が中心なコーディネーターを務めている佐久市立野沢小学校の例～**



野沢小学校の信州型コミュニティスクール組織図 (元吉さん作成)

佐久市立野沢小学校(以下、野沢小)では、平成27年度に信州型コミュニティスクールが立ち上がりました。野沢小の中心なコーディネーターの元吉純子さんにお話を伺いました。

**○野沢小とのつながりは？**

野沢小の信州型コミュニティスクールが立ち上がる前から学校応援団として参観日に託児ボランティアを行っていました。現在も託児ボランティアの活動を続けています。参観日に小さいお子さんを連れて来られた保

護者の方がゆっくりと授業参観できるように、数人のボランティアの方と学校内の一室を使って託児をおこなっています。参観終了後、保護者から子どもたちの生活の様子を聞けることは、今後の活動アイデアのヒントになって、ありがたいと思います。

#### ○コーディネーターになるきっかけは？

以前、佐久市の女性リーダー研修で託児ボランティアを知りました。これを学校で行ったら、“みんなに喜ばれるのでは”と思い、市教委に相談をしたところ、学校での託児が実現しました。託児ボランティアを何回か行う中で、校長先生から「野沢小のコーディネーターを務めてほしい」と相談を受けました。託児ボランティアの代表を行っていたので、さらにコーディネーターという大きな役割を受けることは心配なことばかりでした。しかし、子どもたちのために！という思いや学校の先生方の異動が数年で行われることやコミュニティスクールを続けて行くためには、学校の様子を知っている地域の方がコーディネーターを引き受けることがよいのではないか！という気持ちがあり、野沢小のコーディネーターを引き受けることに決めました。



#### ○コーディネーターになった今、そして、これからの課題

信州型コミュニティスクールが立ち上がったからは毎月最終火曜日に運営委員会が開かれ、全体会で目標やビジョンの共有をし、各分野で活動の目的を確認するなどして、子どもたちを真ん中にした活動に取り組んでいます。現在は、SNSを活用して活動の取組を発信しています。「他校の活動の様子がわかってうれしい」「コーディネーターやボランティアの方とお茶を飲みながら気軽に情報交換ができるといいな」とコメントをもらうこともあります。コメントを受けて他校のコーディネーターやボランティアの方と公民館等を利用して、自校や自己の課題を出し合える情報交換会を始めました。会の中では、「ボランティアと先生の引継ノートがあると、打合せが短時間になったり、活動の振り返りができたりしそうだ」など、アイデアが生まれています。



研修会で知った託児ボランティアがきっかけとなり、市教委への働きかけ、学校からの依頼があり、野沢小のコーディネーターを引き受けた元吉さん。元吉さんの「子どもたちのために！」「コーディネーターは地域の方が！」と心に決めた思いは、同じ思いを持っている方々の共感を呼び、ネットワークが広がっています。  
(東信教育事務所生涯学習課 指導主事 篠原 靖昌)

### 教育委員会職員がコーディネーターを務めている例

#### ～下條村「しもじょっ子カッセイカ会議」～

下條村では、教育委員会職員で社会教育に関わる講座の企画・運営をされている社会教育指導員の佐々木ひとみさんが、平成30年度からコーディネーターを務めています。

村では信州型コミュニティスクールの概念を生かした、総合的な学校協力者会議「しもじょっ子カッセイカ会議」が、平成27年度に設置されました。佐々木さんは、平成29年度末に村校長会からコーディネーターの依頼を受け、以降、コーディネーターを務められているということです。

#### ○地域と学校をつなぐ、コーディネーターとしての取組

佐々木さんは、コーディネーターとして毎週木曜日の休み時間や職員の空き時間に学校を訪問して先

生方の要望を聞き、必要に応じて地域住民と連絡を取ることをしています。教科やクラブ活動、歌舞伎指導で支援に入られる地域ボランティアの方の紹介、小学校で長く受け継がれてきている「ふるさと塾」の講師の依頼や連絡、中学校で行われる職場体験の受入企業の確保も行っています。基本的には、最初の連絡をコーディネーターが行い、詳細についての打合せは担当の学校職員と講師になる地域住民が直接打合せを行うようにしているとのことです。

また、カッセイカ会議の様子や地域と学校が関わる活動の様子を「しもじょっ子だより」(右写真)にまとめ、地域へ情報発信をしています。



### ○下條小学校での打合せの様子から



教頭先生との打合せの様子

佐々木さんから、小学生が書いた地域ボランティアの方への手紙について、地域の方が大変喜んでいただけました。地域の方の反応を学校に届けることも、コーディネーターとして大切にされているとわかります。

また、次年度の計画を立てる中で、じゃがじゃが応援団(ジャガイモ作り支援の活動)について、種芋と肥料をJAから無償で支援していただけることが話題になりました。

#### 《前略》

佐々木さん：子どもたちが世の中の流れを勉強するのであれば、種芋や肥料を買って、それににかかるお金も売り上げの中から出ていくということを知った方が良いということも。

教頭先生：それは大事にしたい部分ですね。無償で支援していただくこともありがたいですが、プロセスを学ばせたいとなれば、社会の仕組みを学ぶこともできそうです。

佐々木さん：ジャガイモだけ買って肥料は支援していただくということも考えられますね。

教頭先生：つける力に繋がることですね。担任の考えもあると思うので、またJAに確認してもらって、できる方法を担任に伝えて考えていきましょう。

地域と学校の協働活動の中で何を求めていくのか、子どもにどんな力を付けていくのか、そういったことも佐々木さんと教頭先生の間では話に上がっていました。

### ○地域コーディネーターの大切さ ～教頭先生の立場から～

小学校の教頭先生は「地域と学校の最初のつなぎの部分をやったださるのでありがたい。学校は、地域の方に入ってもらうことで実現できることが幾つもある。しかし、そのためには考えを共有していかなければならない。教頭が異動したばかりの場合、ボランティアリストがあったとしても全てをつなぐのは難しい。また、学校職員は地域を知ったところには異動してしまうこともある。『前の人はやっていたのに』と地域の方をがっかりさせてしまうのは、地域にとっても学校にとっても残念なことだと思う。活動を継続させることや考えを共有していくためにも、地域の方である教育委員会の方が、地域と学校の間に関わり込んでくださるのは大きいと思う。下條村の中に地域と学校をつなぐコーデ

ィネーターの方がいてくださるというのは理想的だと思う」と話してくださいました。

### ○持続可能な地域学校協働活動とするために

教育委員会職員がコーディネーターを担うということは、将来的にもコーディネーターの役割が引き継がれ、活動が継続されることや反省が翌年に生かされていくことにつながります。また、佐々木さんは社会教育指導員として地域住民を対象とした講座に関わっており、広い世代の地域の方との繋がりがあったこともコーディネーターを務める上で生かされていると考えられます。



このように、地域の人材や地域資源と学校を結ぶためには、地域と学校の双方を理解しており、将来的にも持続可能な教育委員会職員である佐々木さんのような方にコーディネーターをしていただくことが非常に有効だと考えます。

(南信教育事務所飯田事務所 指導主事 伊藤公敏)

## 教頭先生一人のコーディネーター → 複数制に！(山ノ内町立東小学校)

東小学校では、これまで教頭先生が一人でコーディネーターを担っていましたが、信州型コミュニティスクールの活動を進めるに従い、悩みを感じるようになりました。

### ○教頭先生の「困った…」

- ・初めての学校、初めての地域でいきなりコーディネーターだと言われました。地域のことや地域の人のが分からないとコーディネーターとしての活動は難しいと痛感しました。
- ・私が異動になったら次の教頭先生が、また一人で最初から始めることになります。一人しかいないコーディネーターが代わると信州型コミュニティスクールの活動が途切れてしまうことも悩みです。



### ○研修会へ参加してみよう！

これらの悩みを解決する方法の一つとして、教頭先生が「北信地区コミュニティスクール推進セミナー～学社連携・協働意見交換会～」へ参加されました。ここで、コーディネーターを教頭一人だけでなく地域の方数人で担っている事例を知り、東小学校にも取り入れていこうと動き始めました。

### ○悩みを解決していけるメンバーは？

これまでの悩みが解決でき、それぞれの立場の良さを活かして連携できるようにしたいと願い、考えたメンバーは「地域・保護者の代表(PTA会長)」「地域・ボランティア代表」「学校代表(教頭先生)」の3名です。教頭先生から、地域のお二人に「今お持ちの人脈で、多くの地域の皆さんが学校の活動に参加いただけるように御協力ください」とお願いしたところ、快くお引き受けいただいたそうです。

### それぞれの役割や良さ



#### 地域・保護者代表 (PTA会長)

- ・保護者の皆さんとの繋がりが強い。
- ・PTA役員として学校や先生のこと分かる。
- ・家庭や学校での子ども達の様子が分かる。



#### 学校代表 (教頭先生)

- ・担任の先生方が地域に求めたい協力について取りまとめることができる。
- ・学校の課題や子ども達の様子を伝えることができる



#### 地域・ボランティア代表

- ・地域の皆さんとの繋がりが強い。
- ・ボランティアとして学校や先生のこと分かる。
- ・地域や学校での子ども達の様子が分かる。

## 複数制の良さ

- ・複数のコーディネーターがいることで、誰か一人が抜けても、これまでの活動について引き継ぐことができる。
- ・3人いることで、集まって協議したり、役割を分担したり、一人の負担を減らすことができる。

### ○学校運営委員会の意見を次年度へつなげる



令和2年度は、コロナ禍で思うように活動ができずにきましたが、第3回運営委員会（左写真）で、地域コーディネーターが司会を務めて、話し合い（熟議）の機会がつけられました。

これまでの運営委員会では、学校からの説明のあと、委員の皆さんから一言ずつ意見をいただく形でした。今年度は「東小学校の子ども達の良さ」と課題についての熟議を行い、そこでの司会を地域コーディネーターが行いました。付箋を使いながら、全員が考えを

述べ合う活気溢れる時間となりました。

熟議で出された意見を次年度の学校運営に活かすために、今後3人のコーディネーターで意見をまとめる話し合いを行い、次年度の学校運営委員会へとつなげていきます。

（北信教育事務所生涯学習課 指導主事 岡田絵美）

## 教育委員会がコーディネーターを支援

### ～岡谷市放課後子どもの居場所づくり事業 第2回コーディネーター会議より～

岡谷市教育委員会では、岡谷市内の7小学校で放課後子どもの居場所づくりのコーディネーターを務めている方を集め、それぞれの学校での活動の様子や工夫点などの情報共有をする機会を年3回設けています。

### ○会議での情報共有の様子

今回12月に訪問させていただいたのは、2回目ということでした。1回目は7月に行い、3回目は3月に行われるそうです。また、11月には「放課後子どもの居場所づくりスタッフ・岡谷子ども未来塾学習支援員合同研修会」として、日本ほめる達人協会の方から「子どもをほめて育てるコミュニケーションを学ぼう」と題して講演をお聞きしたそうです。

コーディネーターさんをはじめ、ボランティアスタッフの方々も、子どもたちへの対応で困ったり、悩んだりしています。子どもに関わる多くの方にとって、このような講演はとてもありがたいのではないかと思います。

このコーディネーター会議の冒頭、教育委員会教育総務課からの連絡として、11月に市内の校長会で確認された「体育学習の実施について」というプリントをもとに、コロナ禍での運動遊びにおける基本的な考え方を再確認しました。「換気は体育館の少なくとも2か所を開けて常時換気をする」「児童生徒の身体が接触することが前提となる運動は、身体接触をしない実施方法を工夫する。もしくは行わない」等注意点をインフルエンザの流行も踏まえ、コーディネーターさんと再確認していました。学校と同じ対応、同じ考え方を持っているということは、当然のようで大切なことだと思いました。



地元の企業から提供していただいた段ボール工作キットを組み立ててできた作品の情報共有もしました。

この会の後半は、それぞれのコーディネーターからの活動報告や各学校の取り組みはどのように工夫しているか、困っていることはないか等の情報交換を行いました。出た意見として、体育館での活動は、ケガも心配だが密になりやすく、あとの消毒にも時間がかかるため、縄跳びやバドミントンなどを取り入れている地区が多くありました。また、体育館を使わず、工作や折り紙などにして、さらに教室をたくさん使用して、子どもたちを分散させるように工夫をしているという意見もありました。

**○ボランティア確保の情報交換**



今回の会議の中で一番の話題は、「ボランティアさんの高齢化」と「新しいボランティアさんの確保」でした。「子どもを見守るくらいのボランティアなら…」とようやく数名確保できたとお話から、「児童の祖父母世代に声をかけてみよう」「見守り隊から少しずつできることをお聞きして広げていけばいいのでは」等の意見が出る中、今回、この会議を視察に来られていた長野大学の早坂先生からは、「これは全国的な傾向で、世代交代がうまくいっているところは、人材の1本釣りを地道に続けている。県内のある自治体で

『ボランティアをすると健康寿命が7年延びます』『ボランティアをすると認知症になりにくいですよ』とうたって募集しています。」とのご意見をいただき、今後のボランティア確保の参考にしていこうとのことです。

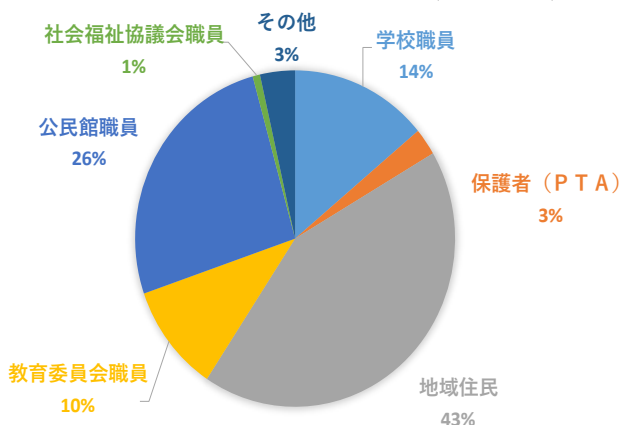
**○情報共有し合いながら「岡谷の子どもは岡谷で育てる」**

岡谷市では、コミュニティスクールと放課後子どもの居場所づくり事業がセットになって機能している学校や社会福祉協議会の協力を得ている学校もあり、地域の方との連携が取れている学校が多く見受けられます。教育委員会としては、このような会で、コーディネーターさんの悩みや地域の課題はもちろん、良い事例を持っている地区と情報を共有し合うことで、より一層「岡谷の子どもは岡谷で育てる」という思いを支援していくために助言をしていきたいとのことでした。



(南信教育事務所生涯学習課 指導主事 水野直昭)

中心的な地域コーディネーターの割合 (令和2年度)



令和2年度「地域と共にある学校づくり実践事例集」より集計

**公民館と地域コーディネーター**

今年度10月1日現在で県内公立小中学校に調査した「中心的な地域コーディネーターの割合」の中で、学校職員（教頭先生等）の割合が平成30年度調査の約49%から、今年度は約14%と減少しています。地域住民や公民館職員の割合が増加してきています。

県内市町村では、公民館の館長さん等の公民館職員が地域コーディネーターを担っている学校が多く見られます。長野県は日本一の公民館数を誇り、公民館が地域の核となり、

地域の大人をつなぐ役割を果たしています。多くの講座が開かれ、地域の人材を発掘したり、把握されたりしています。公民館と連携しながら地域とつながることで、さらに地域学校協働活動が充実していくことも考えられます。



## 長野県生涯学習推進センターより講座のご案内



令和3年度も、センターではさまざまな講座を計画しております。今回は、教育関係の皆様におススメの2講座をご紹介します。

6月29日(火)

### 地域の教育力向上研修

#### 「ネット社会に生きる子ども達の自覚と自律を目指して」



Society 5.0、GIGAスクール構想、コロナ禍での新しい学習方法など、今や子どもとネットは切っても切れない関係となっています。便利なツールである一方、依存症などの健康被害やネットトラブルといった問題が懸念されています。子どもたちの現状を知り、ネットの弊害から子どもを守るために、私たち大人が今できることを学びます。

演題：「ネット社会に生きる子ども達の自覚と自律を目指して」  
講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏

### 地域と学校の連携推進研修

10月12日(火)

#### 「地域と学校で取り組むSDGs」

地球的規模の環境問題など世界が直面する課題解決のためには、私たちひとりひとりの理解と身近な所からの行動が必要です。ESD(持続可能な開発のための教育)やSDGs(持続可能な開発目標)の理念や内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。



演題：「2030に向けたESD/SDGsの広がり(仮)」  
講師：信州大学学術研究院人文社会科学域教育学系  
准教授 安達 仁美 氏

事例発表：白馬高等学校「地域連携とSDGsの取組」  
飯田市南信濃公民館「和田宿にぎやかし隊」  
ワークショップ：「SDGs達成に向けて私たちにできること(仮)」

会場は長野県生涯学習推進センター講堂となります。

講座内容の詳細や申込方法については、県生涯学習推進センターのホームページ、

または「長野県総合教育センター 研修講座案内」をご覧ください。HPはコチラ⇒



☆これからの学校づくりのご参考に！多くの先生方のご参加をお待ちしています。

#### ■■お問い合わせ先■■

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 Tel: 026-235-7437 E-mail: bunsho@pref.nagano.lg.jp

東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252

南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861

南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460

中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977

北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552

長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

生涯学習プログラムガイド集HPアドレス ▶▶

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/bunka/shogai/guide.html>